

# 銀河鉄道の夜

宮沢賢治

+目次

## 一 午後の授業

「ではみなさんは、そういうふうには川だと言（い）われたり、乳（ちち）の流（なが）れたあとだと  
言（い）われたりしていた、このぼんやりと白いものがほんとうは何かご承知（しょうち）ですか」  
先生は、黒板（こくばん）につるした大きな黒い星座（せいざ）の図の、上から下へ白くけぶった銀  
河帯（ぎんがたい）のようなところを指（さ）しながら、みんなに問（と）いをかけました。

カムパネルラが手をあげました。それから四、五人手をあげました。ジョバンニも手をあげようと  
して、急（いそ）いでそのままやめました。たしかにあれがみんな星だと、いつか雑誌（ざっし）で  
読んだのですが、このごろはジョバンニはまるで毎日教室でもねむく、本を読むひまも読む本もな  
いので、なんだかどんなこともよくわからないという気持（きも）ちがするのです。

ところが先生は早くもそれを見つけたのです。

「ジョバンニさん。あなたはわかっているのでしょうか」

ジョバンニは勢（いきお）いよく立ちあがりましたが、立ってみるともうはっきりとそれを答える  
ことができないのです。ザネリが前の席（せき）からふりかえって、ジョバンニを見てくすつとわ  
らいました。ジョバンニはもうどぎまぎしてまっ赤になってしまいました。先生がまた言（い）いま  
した。

「大きな望遠鏡（ぼうえんきょう）で銀河（ぎんが）をよっく調（しら）べると銀河（ぎんが）はだ  
いたい何でしょう」

やっぱり星だとジョバンニは思いましたが、こんどもすぐに答えることができませんでした。

先生はしばらく困（こま）ったようすでしたが、眼（め）をカムパネルラの方（む）けて、

「ではカムパネルラさん」と名指（なざ）しました。

するとあんなに元気に手をあげたカムパネルラが、やはりもじもじ立ち上がったままやはり答えが  
できませんでした。

先生は意外（いがい）なようにしばらくじっとカムパネルラを見ていましたが、急（いそ）いで、

「では、よし」と言（い）いながら、自分で星図を指（さ）しました。

〈略〉

---

底本：「銀河鉄道の夜」角川文庫、角川書店  
1969（昭和44）年7月20日改版初版発行  
1987（昭和62）年3月30日改版50版

入力：幸野素子

校正：土屋隆

2005年8月18日作成

2010年11月1日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、[青空文庫](http://www.aozora.gr.jp/) (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。

入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

---

●表記について

- このファイルは W3C 勧告 XHTML1.1 にそった形式で作成されています。
- [#...] は、入力者による注を表す記号です。
- この作品には、JIS X 0213 にない、以下の文字が用いられています。（数字は、底本中の出現「ページ-行」数。）これらの文字は本文内では「※ [#...]」の形で示しました。